

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	島根リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 仁多学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	18 単位 (新課程・1年生)	12 単位	
		夜・通信	41 単位 (旧課程・2~4年生)	12 単位	
	作業療法学科	夜・通信	20 単位 (新課程・1年生)	12 単位	
		夜・通信	37 単位 (旧課程・2~4年生)	12 单位	

(備考)

「理学療法学科」・「作業療法学科」ともに新課程への移行初年度であり、1年生が新課程、2~4年生は旧課程である。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

理学療法学科:<https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/2-1.pdf>

作業療法学科:<https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/2-2.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	島根リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 仁多学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/5.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益社団法人 理事長	平成30年2月3日 ～令和4年2月2日	・学院経営に関する提言・助言
非常勤	公立病院事務長	令和2年6月7日 ～令和4年6月6日	・学院経営に関する提言・助言 ・医療施設（臨床実習および就職施設）としての提言・助言

(備考)

法人理事（役員）は7名。本学校法人設立時の基本財産出捐者は地方自治体（町）であり、法人役員理事相互間における同族性、利害関係はない。学生の修学、就職、生活支援、コミュニティ活動参画等、育成人材と社会性、地方創生等の関係性を下に、学生の社会的能力、応用力養成へ活力ある多面的視点での提言者を配置。

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	島根リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 仁多学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

1) シラバスの作成過程

各科目のシラバスは科目を担当する教員が作成する。オムニバス、共同科目のような複数の教員で担当する科目の場合は、当該科目の責任者が他の教員と協議の上、作成する。シラバスの記載内容の確認・修正依頼は、教務部、学務課で行う。

2) シラバスの作成・公表時期

シラバスは11月から2月に作成される。シラバスは学生便覧に掲載され、学生便覧は、始業式(4月)に学生に配布される。2020年度は、6月にシラバスを学院ホームページにて公開し、学生のみならず一般の方々にも閲覧できるようにしている。2021年度からは、毎年度3月に学院ホームページにて公開し、学生のみならず一般の方々にも閲覧できるようにする。

・2020年度のスケジュール

2019年11月 : 作成依頼
2020年2月 : 修正
2020年3月 : 学生便覧印刷
2020年4月 : 始業式に学生便覧を学生配布

・2021年度以降

11月 : 作成依頼
2月 : 修正
3月 : 学生便覧印刷
学院ホームページに公開
4月 : 始業式に学生便覧を学生配布

授業 計画 書の 公表 方法	【理学療法学科】 1年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-1.pdf 2年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-3.pdf 3年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-5.pdf 4年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-7.pdf
	【作業療法学科】 1年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-2.pdf 2年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-4.pdf 3年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-6.pdf 4年生 : https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/1-8.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

1) 単位認定

授業科目の単位は、履修登録をした上で授業に出席し、シラバスに示してある「評価方法」に基づく成績評価の結果により、科目の責任者によって認定される。

2) 成績評価

授業科目の成績は、科目ごとにその特性に合わせて予め設定された、学修意欲、筆記試験、レポートなどの課題、実技試験、卒業論文などの適正な評価方法で、0点から100点の範囲で得点化し、各科目の責任者によって評価される。評価方法は、シラバスの「評価方法」に示してある。これらの成績評価の結果は、下表のとおりA、B、C、Dの4段階で学生に示され、A、B、Cを合格とする。

評価	評価基準	摘要
A	100点～80点	合格とし、単位を認定する。
B	79点～70点	
C	69～60点	
D	59点以下	不合格とし、単位を与えない
認	-	入学前の他大学等での修得単位の認定

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1) 客観的な指標

科目ごとの成績は、シラバスの「評価方法」に示してある方法で、0点から100点の範囲で得点化される。学生個人ごとに、当該学年で履修した科目的総得点を、当該学年で履修した科目的総数で除し、平均得点を算出する。この平均得点を、学生の学修成績や意欲を把握するための客観的指標とする。

2) 客観的指標の実施状況

毎年度3月に、各学科で学年別に、学生の履修した全ての科目的平均得点を算出し、その後、一覧表と成績分布表を作成している。これらの資料を学生の学修成果及び意欲の把握のための資料の一部とし、学科会議や教務会議にて検討し、その後の学生教育に生かしている。

客観的な指標の
算出方法の公表
方法

<https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/3.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施すること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1) 卒業認定に関する方針

島根リハビリテーション学院の教育課程において、厳格な成績評価のもと、卒業要件を満たし、各学科のディプロマ・ポリシーで示す知識や能力等を身につけた学生に対して、学院長が卒業を認定する。

・卒業要件：(新課程・1年生)

学則第26条に準じ、本学に4年以上在籍し、体系的な科目履修によって、理学療法学科は135単位を修得し、作業療法学科は137単位を修得し、かつ卒業試験に合格することとする。

(旧課程・2~4年生)

学則第26条に準じ、本学に4年以上在籍し、体系的な科目履修によって、理学療法学科は111単位を修得し、作業療法学科は112単位を修得し、かつ卒業試験に合格することとする。

・ディプロマ・ポリシー

理学療法学科

○優れた知識と確かな技術の育成

科学的根拠に基づいた理学療法プログラムを立案するための知識を身に着け、評価技術や治療技術を修得し、自己研鑽を惜しまない人材を育成します。

○豊かな人間性の育成

ヒトの心の声に耳を傾け共感することができ、機能や能力の改善と地域社会まで包括したアプローチができる人材を育成します。

○問題発見・解決能力の育成

時代の変化に対応し、常にビジョンを抱き、時代に応じた組織運用、新たな事業などを開発、促進するため、地域社会における問題を発見し、解決していく情報収集能力、運営実行力、チームワーク力を兼ね備えた人材を育成します。

作業療法学科

○作業を理解し活用できる人材の育成

日々行っている「日常生活」に焦点を当て、ヒトのこころー作業ー人の・物的環境の関係性を科学的に探求できる人材を育成します。

○健康と生活を支援できる人材の育成

健康や生活に対する価値観は多種多様であり、個別的ニーズへの支援が求められています。一人ひとりの「意味のある作業」に関心を寄せ、柔軟な支援を通じて健康観を高め、生活を豊かにできる人材を育成します。

○社会や地域づくりに参画しヒトが暮らしやすい社会を構築する人材の育成

医療・保健・福祉にわたる幅広い専門性を修得します。コミュニケーション能力を身につけ、グローバルな社会に適応し、地域を創造できる人材を育成します。

2) 卒業認定に関する方針の実施状況

毎年度12月の教務会議にて、学生の学修成果等の情報を基に卒業判定案が作成される。この卒業判定案を基に、スタッフ会議にて検討され、その後学院長が卒業を認める。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/4.pdf
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	島根リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 仁多学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/6.pdf
収支計算書又は 損益計算書	https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/7.pdf
財産目録	https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/8.pdf
事業報告書	https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/9.pdf
監事による 監査報告（書）	https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/10.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

■理学療法学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	理学療法学科		○
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類	
4年	昼	(新課程・1年生) 135 単位	講義 60 単位	演習 47 単位
			実習 27 単位	実験 0 単位
			実技 1 単位	
			135 単位	
4年	昼	(旧課程・2~4年生) 111 単位	77 単位	3 単位
			30 単位	0 単位
			111 単位	1 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
120人	127人	0人	6人	59人
				65人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要)
1)シラバスの作成過程 各科目のシラバスは科目を担当する教員が作成する。オムニバス、共同科目のような複数の教員で担当する科目の場合は、当該科目の責任者が他の教員と協議の上、作成する。シラバスの記載内容の確認・修正依頼は、教務部、学務課で行う。

2) シラバスの作成・公表時期

シラバスは11月から2月に作成される。シラバスは学生便覧に掲載され、学生便覧は、始業式(4月)に学生に配布される。2020年度は、6月にシラバスを学院ホームページにて公開し、学生のみならず一般の方々にも閲覧できるようにしている。2021年度からは、毎年度3月に学院ホームページにて公開し、学生のみならず一般の方々にも閲覧できるようにする。

・2020年度のスケジュール

2019年11月 : 作成依頼
2020年2月 : 修正
2020年3月 : 学生便覧印刷
2020年4月 : 始業式に学生便覧を学生配布

・2021年度以降

11月 : 作成依頼
2月 : 修正
3月 : 学生便覧印刷
学院ホームページに公開
4月 : 始業式に学生便覧を学生配布

成績評価の基準・方法

(概要)

1) 単位認定

授業科目の単位は、履修登録をした上で授業に出席し、シラバスに示してある「評価方法」に基づく成績評価の結果により、科目の責任者によって認定される。

2) 成績評価

授業科目の成績は、科目ごとにその特性に合わせて予め設定された、学修意欲、筆記試験、レポートなどの課題、実技試験、卒業論文などの適正な評価方法で、0点から100点の範囲で得点化し、各科目の責任者によって評価される。評価方法は、シラバスの「評価方法」に示してある。これらの成績評価の結果は、下表のとおりA、B、C、Dの4段階で学生に示され、A、B、Cを合格とする。

評価	評価基準	摘要
A	100点～80点	合格とし、単位を認定する。
B	79点～70点	
C	69～60点	
D	59点以下	不合格とし、単位を与えない
認	-	入学前の他大学等での修得単位の認定

卒業・進級の認定基準

(概要)

1) 卒業認定に関する方針

島根リハビリテーション学院の教育課程において、厳格な成績評価のもと、卒業要件を満たし、各学科のディプロマ・ポリシーで示す知識や能力等を身につけた学生に対して、学院長が卒業を認定する。

・卒業要件：（新課程・1年生）

学則第26条に準じ、本学に4年以上在籍し、体系的な科目履修によって、135単位を修得し、かつ卒業試験に合格することとする。

（旧課程・2~4年生）

学則第26条に準じ、本学に4年以上在籍し、体系的な科目履修によって、111単位を修得し、かつ卒業試験に合格することとする。

・ディプロマ・ポリシー

理学療法学科

○優れた知識と確かな技術の育成

科学的根拠に基づいた理学療法プログラムを立案するための知識を身に着け、評価技術や治療技術を修得し、自己研鑽を惜しまない人材を育成します。

○豊かな人間性の育成

ヒトの心の声に耳を傾け共感することができ、機能や能力の改善と地域社会までも包括したアプローチができる人材を育成します。

○問題発見・解決能力の育成

時代の変化に対応し、常にビジョンを抱き、時代に応じた組織運用、新たな事業などを開発、促進するため、地域社会における問題を発見し、解決していく情報収集能力、運営実行力、チームワーク力を兼ね備えた人材を育成します。

2) 卒業認定に関する方針の実施状況

毎年度12月の教務会議にて、学生の学修成果等の情報を基に、卒業判定案が作成される。この卒業判定案を基に、スタッフ会議にて検討され、その後学院長が卒業を認める。

学修支援等

(概要)

クラス担任制・持ち上がり制をとり、学生との信頼関係づくりに務めている。個別相談や指導等の対応は、主に担任が連絡を取り相談に乗ると共に、学科内で問題を共有し、解決策を協議している。また、学生相談室（非常勤の臨床心理士配置）への訪室を促している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0.0%)	20人 (100%)	0人 (0.0%)

(主な就職、業界等)

出雲市民・出雲リハビリテーション病院、大田市立病院、野島病院、三次地区医療センター、廿日市記念病院、東浦平成病院、静清リハビリテーション病院、みたかクリニック、他多数。

(就職指導内容)

就職支援担当教員を配置し、就職支援体制を整えている。就職支援担当教員およびハローワーク、ジョブカフェ島根等の就職支援専門機関の職員による就職セミナーを開催し、就職活動の心構えの形成や進め方の指導に加え、具体的な指導として自己分析の演習、履歴書の書き方、模擬面接等を実施している。

また、求人企業による就職説明会を求人企業の希望に応じて開催している。その管理は就職支援担当教員が担っている。学生個々の就職支援は、主に担任が担うが、担任は、就職支援担当教員と連携を図り進めている。

(主な学修成果(資格・検定等))

理学療法士国家試験

キネシオテーピング協会認定トレーナー

普通救命講習Ⅱ

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109人	1人	0.9%

(中途退学の主な理由)

- ・他の目標が見つかった。
- ・療法士になることの動機が不十分だった。

(中退防止・中退者支援のための取組)

成績不振の学生に対して手厚く個別補習を行い、また1年次より臨床見学を実施し職業についての理解を深め、意欲向上に繋げている。個人面談は3~4回実施しており、問題の早期発見と助言・指導を行っている。また、学生相談室を設置し臨床心理士による学生相談も行っている。

休退学防止に向けた要因分析をしている。

■作業療法学科

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
医療		医療専門課程	作業療法学科			○
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
4年	昼	(新課程・1年生) 137 単位	63 単位	46 単位	27 単位	0 単位
						137 単位
4年	昼	(旧課程・2~4年生) 112 単位	81 単位	1 単位	29 単位	0 単位
						112 単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		95人	0人	5人	63人	68人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

1) シラバスの作成過程

各科目のシラバスは科目を担当する教員が作成する。オムニバス、共同科目のような複数の教員で担当する科目の場合は、当該科目の責任者が他の教員と協議の上、作成する。シラバスの記載内容の確認・修正依頼は、教務部、学務課で行う。

2) シラバスの作成・公表時期

シラバスは11月から2月に作成される。シラバスは学生便覧に掲載され、学生便覧は、始業式(4月)に学生に配布される。2020年度は、6月にシラバスを学院ホームページにて公開し、学生のみならず一般の方々にも閲覧できるようにしている。2021年度からは、毎年度3月に学院ホームページにて公開し、学生のみならず一般の方々にも閲覧できるようにする。

・2020年度のスケジュール

- 2019年11月 : 作成依頼
- 2020年2月 : 修正
- 2020年3月 : 学生便覧印刷
- 2020年4月 : 始業式に学生便覧を学生配布

・2021年度以降

- 11月 : 作成依頼
- 2月 : 修正
- 3月 : 学生便覧印刷
学院ホームページに公開
- 4月 : 始業式に学生便覧を学生配布

成績評価の基準・方法

（概要）

1) 単位認定

授業科目の単位は、履修登録をした上で授業に出席し、シラバスに示してある「評

価方法」に基づく成績評価の結果により、科目の責任者によって認定される。

2) 成績評価

授業科目の成績は、科目ごとにその特性に合わせて予め設定された、学修意欲、筆記試験、レポートなどの課題、実技試験、卒業論文などの適正な評価方法で、0点から100点の範囲で得点化し、各科目の責任者によって評価される。評価方法は、シラバスの「評価方法」に示してある。これらの成績評価の結果は、下表のとおりA、B、C、Dの4段階で学生に示され、A、B、Cを合格とする。

評価	評価基準	摘要
A	100点～80点	合格とし、単位を認定する。
B	79点～70点	
C	69～60点	
D	59点以下	不合格とし、単位を与えない
認	－	入学前の他大学等での修得単位の認定

卒業・進級の認定基準

(概要)

1) 卒業認定に関する方針

島根リハビリテーション学院の教育課程において、厳格な成績評価のもと、卒業要件を満たし、各学科のディプロマ・ポリシーで示す知識や能力等を身につけた学生に対して、学院長が卒業を認定する。

・卒業要件：（新課程・1年生）

学則第26条に準じ、本学に4年以上在籍し、体系的な科目履修によって、137単位を修得し、かつ卒業試験に合格することとする。

（旧課程・2～4年生）

学則第26条に準じ、本学に4年以上在籍し、体系的な科目履修によって、112単位を修得し、かつ卒業試験に合格することとする。

・ディプロマ・ポリシー

作業療法学科

○作業を理解し活用できる人材の育成

日々行っている「日常生活」に焦点を当て、ヒトのこころー作業ー人の物理的環境の関係性を科学的に探求できる人材を育成します。

○健康と生活を支援できる人材の育成

健康や生活に対する価値観は多種多様であり、個別的ニーズへの支援が求められています。一人ひとりの「意味のある作業」に関心を寄せ、柔軟な支援を通じて健康観を高め、生活を豊かにできる人材を育成します。

○社会や地域づくりに参画しヒトが暮らしやすい社会を構築する人材の育成

医療・保健・福祉にわたる幅広い専門性を修得します。コミュニケーション能力を身につけ、グローバルな社会に適応し、地域を創造できる人材を育成します。

2) 卒業認定に関する方針の実施状況

毎年度12月の教務会議にて、学生の学修成果等の情報を基に、卒業判定案が作成される。この卒業判定案を基に、スタッフ会議にて検討され、その後学院長が卒業を認める。

学修支援等

(概要)

クラス担任制・持ち上がり制をとり、学生との信頼関係づくりに務めている。個別相談や指導等の対応は、主に担任が連絡を取り相談に乗ると共に、学科内で問題を共有し、解決策を協議している。また、学生相談室（非常勤の臨床心理士配置）への訪室を促している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0.0%)	9人 (75.0%)	3人 (25.0%)

(主な就職、業界等)

隠岐島前病院、松江赤十字病院、出雲市民リハビリテーション病院、阿知須同仁病院、丹後中央病院、株式会社あおいケア、総合東京病院、北原国際病院、他。

(就職指導内容)

就職支援担当教員を配置し、就職支援体制を整えている。就職支援担当教員およびハローワーク、ジョブカフェ島根等の就職支援専門機関の職員による就職セミナーを開催し、就職活動の心構えの形成や進め方の指導に加え、具体的な指導として自己分析の演習、履歴書の書き方、模擬面接等を実施している。

また、求人企業による就職説明会を求人企業の希望に応じて開催している。その管理は就職支援担当教員が担っている。学生個々の就職支援は、主に担任が担うが、担任は、就職支援担当教員と連携を図り進めている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

作業療法士国家試験
普通救命講習Ⅱ

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	1人	1.3%

(中途退学の主な理由)

- ・学業に対する意欲低下と学業不振。
- ・療法士になることの動機が不十分だった。

(中退防止・中退者支援のための取組)

成績不振の学生に対して手厚く個別補習を行い、また1年次より臨床見学を実施し職業についての理解を深め、意欲向上に繋げている。学費納付の難しい学生に対しては、授業料減免の各種奨学金制度を設け、経済面で進学を諦めざるを得ない学生の支援を行っている。

また、教員のみでなく学生相談室を設置し臨床心理士による学生相談も行っている。

休退学防止に向けた要因分析をしている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	0 円	60 万円	63 万円	施設充実費 (年額) 35 万円 実験実習費 (年額) 25 万円 入学検定料 (入学年次) 3 万円
作業療法学科	円	円	円	
	円	円	円	

修学支援 (任意記載事項)

【本学院独自の支援制度（奥出雲町からの支援を含む）】

1) 学費減免特待生制度

- 対象 経済的理由で修学困難な者
- 人数 各学年4名（年収500万円未満）
- 減免額 学費の25%（30万円）

2) 兄弟姉妹在学給付金制度

- 対象 正規の進級課程において、兄弟姉妹で本学院に在籍し、町指定宿舎に入居している者
- 給付金 一人当たり年額20万円給付

3) 在学中無利子の学費支援制度

- 対象 山陰合同銀行から学費の融資を受ける者
- 人数 各学年6名以内
- 利子支援額 限度額7万円（年額）

4) 運転免許取得補助制度

- 対象 入学手続き終了後に運転免許取得した者
- 人数 希望すればすべて
 - 入学後、指定自動車教習所の経費について、自己負担10万円、残額を本学院が補助。
 - 入学手続き終了後、運転免許を取得して入学した者には10万円支給。

5) 通学費補助

- 対象 学院から離れた宿舎に入居している学生
- 内容 町から通学費として月額1,800円補助

6) 学院による社会人支援制度

- ① 一般社会人特待生優遇制度
- 対象 一般社会人特待生
 - 人数 若干名
 - 減免額 授業料年額20万円

<p>② 事業所推薦特待生優遇制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 事業所推薦特待生 ・ 人數 若干名 ・ 減免額 授業料年額 30万円 <p>7) 学生宿舎(公社賃貸住宅)家賃補助制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家賃 月額 (実質負担額) 20,900円 (奥出雲町より1万円助成後) ・ 設備 面積 35.13m²/1DK、オール電化住宅

b) 学校評価

<p>自己評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/15.pdf</p> <p>学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)</p> <p>1) 学校関係者評価委員会設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学院が実施した自己点検・自己評価の結果を、外部の学院関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用している。 ・ ①教育の質、②学生支援、③社会貢献、④学生募集活動等の項目について評価を行っている。 <p>2) 委員構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学院の運営方針や活動に関して、関連分野でかつ多面的な評価や意見が聴取できるよう以下の種別にて人選している。 <ul style="list-style-type: none"> ① 関連業界等関係者 ② 卒業生 ③ 教育に関し知見を有する者 ④ その他学院長が必要と認める者 ・ 6名以上8名以内で選出する。任期は2年で、再任を妨げない。 <p>3) 委員会運営及び学院運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回委員会、学院長が招集し開催する。 ・ 委員長は委員より互選にて選出する。 ・ 年度初め(6月)には、前年度に設定した「重点項目(教育の質、学生支援、社会貢献、学生募集活動等)と達成計画」の実施状況に基づいた「学院による自己点検・自己評価報告」を受け、質疑や評価・提案を行い、「学校関係者評価報告」としてとりまとめて学院へ報告する。 ・ 年度末(3月)には、本年度の活動進捗状況について学院側より報告を受け、質疑及び評価と提案を行う。続いて、学院側より提示される次年度の重点目標と達成計画(案)について質疑を行い、それを評価し補強する。 合わせて、翌年度の「重点項目と達成計画」について確認を行う。 ・ 委員会における意見や報告書の内容は、学院内で共有され、学院長直下の学院運営会議での議論を経て、スタッフ会議で確認・周知し、次年度活動計画として実行する。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
奥出雲町立奥出雲病院院長	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	関連業界等関係者 (医療)
奥出雲町副町長	令和 2 年 6 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	行政に関し知見を有する者 (行政)
奥出雲町教育委員会教育長	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	教育に関し知見を有する者 (教育)
奥出雲町社会福祉協議会事務局長	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	関連業界等関係者 (社会福祉)
一般社団法人スクナヒコナ副代表理事	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	関連業界等関係者 (地域支援)
出雲医療生活協同組合組織課	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	卒業生
鹿島病院通所リハビリテーション所長	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/16.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
<ul style="list-style-type: none"> ● 評価団体：特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構（私立専門学校等第三者評価） <ul style="list-style-type: none"> ・受審年月：平成 30 年 3 月 ・評価結果：https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/21.pdf ● 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構（第三者評価） <ul style="list-style-type: none"> ・受審年月：平成 30 年 3 月 ・評価結果：https://shima-reha.com/wp2/wp-content/uploads/22.pdf 		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<http://shima-reha.com/>